

日本図書館情報学会会報

No. 174

2019年4月

日本図書館情報学会事務局

〒182-8525 東京都調布市緑ヶ丘 1-25

白百合女子大学 今井福司研究室内

(事務局業務に関する問合せ先)

(株)ガリレオ 学会業務情報化センター内 日本図書館情報学会

E-mail : office@jslis.jp 学会ウェブページ : <http://www.jslis.jp/>

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行019店 口座番号=当座0045759 口座名義=日本図書館情報学会

図書館情報学の活動基盤強化に向けた新たな取り組み

会長 小田 光宏

2018年度の定例（通信）総会では、本学会において30年ぶりとなる、会費改定をお認めいただきました。今後は、財政面でのこうした改善を、図書館情報学の活性化に結びつけられるよう、慎重に検討を重ねながら、新たな取り組みに邁進したいと願っています。2019年度は、今期の役員会の最終年度に当たります。任期の最終年度においては、「次の役員のを考えを制約しないように」といった意識が示されることが少なくありません。表面的には、穏当な意見ではありますが、組織運営としての遅滞を招くリスクがあることにも注意すべきです。それゆえ、年度末に引継が予定されていることを踏まえながらも、今期の取り組みが次期以降に花開くよう、適切な時期に適量の種を蒔き、適度な養分と水分を注ぐことに努める所存です。

すでに始めた活動の一つは、『図書館情報学用語辞典』の改訂作業です。2020年秋の刊行を目指して、鋭意、進めて参ります。ご多忙にもかかわらず、編集委員をお引き受けいただいたみなさまには、この場を借りて、厚く御礼申し上げます。これに加えて、2019年度は、中項目主義の専門事典の編纂についての検討を開始します。この取り組みは、小項目主義である『図書館情報学用語辞典』とは異なる、ある程度の体系性を志向したツールの作成を目指すものです。会員各位におかれましては、こうした営みの進展をお見守りいただき、また、ご支援・ご協力賜れば幸に存じます。

また、会費改定の検討の過程で実施した意見聴取において、理事の人数が会員数に比して多めであるとのご指摘がありました。これは、本学会の組織に関する検討課題の一つであると認識しています。2019年度は、本学会が置かれている状況を的確に捉えた上で、検討事項を洗い出し、図書館情報学の実質的な発展がもたらされるよう、対処したいと願っています。役員一同、これまでと同様に、異なる意見を広く受け止め、変えるべきことと変えてはならないことを見極めながら、また、変えることのできるの何であるのかに考えを及ぼせて、会員のみなさまと共に歩んで参ります。

よろしく、お願い申し上げます。

2019年度日本図書館情報学会春季研究集会のご案内

会員各位

会長 小田光宏

2019年度春季研究集会を帝京大学において、下記の要領で開催いたします。会員のみなさまにおかれましてはふるってご参加ください。参加を希望される方は、学会ウェブサイトから、所定の期日までにお申し込み願います。

記

主 催：日本図書館情報学会

日 時：2019年6月8日（土）10:15～17:30

会 場：帝京大学八王子キャンパス ソラティオスクエア Cゾーン4階（予定）

〒192-0395 東京都八王子市大塚 359

<http://www.teikyo-u.ac.jp/access/hachioji.html>

アクセス：

- ・京王線高幡不動駅より1番乗場 帝京大学構内行きバス（高23系統）帝京大学構内下車
- ・京王・小田急多摩センター駅より4番乗場 帝京大学構内行きバス（多16系統）帝京大学構内下車
- ・多摩モノレール 大塚・帝京大学駅より徒歩約15分

参加費：正会員 2,000円，学生会員 1,000円，非会員 3,000円

申込締切：2019年6月1日（土）

申込先：学会ウェブサイト（<http://jslis.jp/>）からリンクを辿り、申し込みフォームにアクセスしてください。

備 考：

- （1）宿泊については、会場校での斡旋は行いません。各自でご手配ください。
- （2）当日は、学内の食堂はすべて閉店しています。昼食は、学内のコンビニエンスストア（ファミリーマート、セブンイレブン）または、学外の飲食店をご利用ください。
- （3）当日は、ソラティオスクエア Cゾーン5階のACT3（ラーニングcommons）を見学いただける予定です。詳細は当日受付にてご案内いたします。

2019年度春季研究集会(帝京大学)プログラム

2019.4.19 現在

10:15～ 10:30	開会式 第1会場 (S417)	
	第1会場 (S417)	第2会場 (S418)
10:30～ 11:00	◎赤山みほ(八洲学園大学) 公立図書館の潜在利用者とニーズ把握の検討	上岡真紀子(帝京大学) 米国の大学図書館界にみる教育担当図書館員に期待される役割と能力の変化: 能力基準にみるビブリオグラフィックインストラクションから情報リテラシーへの転換
11:00～ 11:30	◎吉井潤(都留文科大学) 公立図書館における図書除籍資料リストの分析: 江戸川区立図書館1年分の事例から	河村俊太郎(東京大学大学院) 学問的知識の形成史における図書館とその購入図書を用いた手法の可能性
11:30～ 12:00	◎藤牧功太郎(新宿区役所) 公立図書館業務に必要な能力、知識及び技能の習得方法に関する研究: 新宿区立図書館職員を対象に実施した質問紙調査結果の分析と考察	山本順一(桃山学院大学) フェイクな学術世界の基盤と背景について考える: アメリカ連邦取引委員会対OMICSグループ事件訴訟を起点として
12:00～ 13:15	昼休み(1時間15分)	
	第1会場 (S417)	第2会場 (S418)
13:15～ 13:45	◎門脇夏紀(慶應義塾大学大学院) Word2Vecの分散表現による単語間の類似度の特徴: LDAおよびNMFと比較して	小竹諒(筑波大学大学院), 平久江祐司(筑波大学) 学校司書の職場適応行動の特徴: プロアクティブ行動の視点から
13:45～ 14:15	◎木村麻衣子(慶應義塾大学) 漢籍利用者はどのように漢籍を使うのか	小林達也(愛知淑徳大学大学院) 課題解決型学習を支援する学校図書館の教育的機能の構造化
14:15～ 14:45	◎杉本ゆか(明星大学) A. J. HarrisによるHow to Increase Reading Abilityの考察: 読むことの定義と過程の検討	根本彰(慶應義塾大学) 日・米・仏のカリキュラム改革史における学校図書館政策
14:45～ 15:15	葉袋秀樹(元筑波大学) 裏田武夫、小川剛の図書館法関係著作に関する考察: 『図書館法成立史資料』以後の著作を対象に—	伊藤民雄(実践女子大学) 図書館向けDDA/PDA欧文電子書籍コレクションの実態と特徴について: DDA/PDAコレクション, NACSIS-CAT, 蔵書サンプルとの比較を通して
15:15～ 15:30	休憩(15分)	
15:30～ 16:00	森山光良 日本の公共図書館の広域総合目録事業に関する考察	植村要(立命館大学), 竹内慶至(名古屋外国語大学) 音訳ボランティアの実態と意識に関する計量分析: 世代・年齢・動機に着目して
16:00～ 16:30	福永智子(椙山女学園大学) 読書相談サービスの論点提示: 図書館法第3条「十分な知識」をめぐる考察	豊浩子(筑波大学大学院) 揺籃期における米国のパブリック・ディプロマシー: 奄美琉米文化会館の蔵書構成の分析を通じて
16:30～ 17:00	荻原幸子(専修大学) 米国における公共図書館運営のガバナンス構造にみる日本の図書館運営の課題	谷口祥一(慶應義塾大学) VIAFによる典拠レコードマッピングは適切か: 日本名個人名を対象とした検証方法の提案
17:00～ 17:30	松本直樹(慶應義塾大学), 安形輝(亜細亜大学), 大谷康晴(日本女子大学) 公立図書館における指定管理者制度の競争環境	—

* 氏名前の◎は優秀発表奨励賞授与対象者です。

* このプログラムは暫定版であり、発表論文の提出をもって確定します。

* 所属等の表示は、教職員(常勤/非常勤)・院生・学部生等を問わず「機関名」「大学名」等のみとしてあります。

* 会場として使用する教室は変更の可能性があります。

第 67 回（2019 年度）研究大会開催日の決定

研究委員会

第 67 回日本図書館情報学会研究大会は、龍谷大学大宮キャンパス（京都府）において 2019 年 10 月 19 日（土）、20 日（日） に開催されます。2 日目午後に「デジタルアーカイブと図書館」（仮題）をテーマに、シンポジウムを一般公開で開催します。

研究大会開催日は、秋の行楽シーズンと重なっておりますので、交通手段と宿泊先を早めに手配されることをお勧めいたします。会員の皆様におかれましては参加をご予定ください。

学会賞・論文賞・奨励賞候補の推薦募集

学会賞選考委員会

2019 年度の日本図書館情報学会賞、論文賞、奨励賞の候補に関する推薦を下記のとおり、募集いたします。自薦・他薦を問いません。多くの会員からの候補の推薦をお待ちしております。

記

1. 賞の種類

- (1) 日本図書館情報学会賞
- (2) 日本図書館情報学会論文賞
- (3) 日本図書館情報学会奨励賞

2. 選考対象

- (1) 日本図書館情報学会賞：本学会の正会員
- (2) 日本図書館情報学会論文賞：本学会の正会員・学生会員が筆頭著者である論文
- (3) 日本図書館情報学会奨励賞：本学会の正会員・学生会員（若手研究者）

3. 選考対象業績

- (1) 日本図書館情報学会賞：正会員によって 2017 年度もしくは 2018 年度（2017.4.1～2019.3.31）に日本語もしくは英語で発表された単著の図書および論文
- (2) 日本図書館情報学会論文賞：『日本図書館情報学会誌』第 64 巻第 2 号から第 65 巻第 1 号までに掲載された、本学会正会員もしくは学生会員が筆頭著者である論文
- (3) 日本図書館情報学会奨励賞
 - a. 『日本図書館情報学会誌』第 64 巻第 2 号から第 65 巻第 1 号までに掲載された、本学会正会員もしくは学生会員による単著論文
 - b. その他の研究業績については、本学会正会員により推薦されたもの

4. 選考

学会賞選考委員会において学会賞選考委員会内規に基づき審査し、常任理事会および理事会の承認を得て決定する。

[学会賞選考委員会内規の選考基準の部分の抜粋]

(1) 学会賞選考基準

学会賞の対象となる業績は以下の基準を満たしていること。

- 1) 単行書として刊行された学術図書もしくは英語の査読付き学術雑誌掲載論文であること。ただし、英語の査読付き学術雑誌論文で、1本のみで対象とすることが難しい場合、同一テーマで刊行された複数の論文を対象とすることもできる。
- 2) 単著であること
- 3) 図書館情報学分野を対象とし、一定の学術的体系性をもつ研究成果であること
- 4) 図書館情報学分野においてオリジナリティのある研究成果であること

(2) 論文賞選考基準

論文賞の対象となる業績は以下の基準を満たしていること。

- 1) 日本図書館情報学会誌の当該年度対象の号に掲載された優れた論文であること
- 2) テーマの設定、提示された成果にオリジナリティがあること
- 3) 論文の内容、構成、表現について、論文としての完成度が高いこと

(3) 奨励賞選考基準

奨励賞の対象となる業績は以下の基準を満たしていること。

- 1) 日本図書館情報学会誌の当該年度対象の号に掲載された若手研究者による単著論文であること
- 2) 研究テーマの設定が明確で、学術的意義があること
- 3) 研究方法、成果の提示に大きな瑕疵がないこと
- 4) 今後の研究の発展に期待ができること

5. 授賞

2019年度研究大会時に授賞式を行う。

6. 応募・推薦方法

以下の事項を記載した用紙（所定の書式はないが、A4判横書きが望ましい）を7月12日（金）までに必着で郵送ないしは電子メールにて送付すること。なお、推薦者の氏名は非公開とするが、選考過程を報告する際に、推薦理由等については一定程度言及することがあり得る。

- a. 著者名
- b. 著作名（書名、論題名等）
- c. 出版社／収録雑誌名・巻・号・頁
- d. 推薦者連絡先（メールアドレス明記）
- e. 推薦理由

7. 応募・推薦先

【郵送】〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾大学文学部

倉田敬子 気付 日本図書館情報学会 学会賞選考委員会

【メール】 senkou@jslis.jp（学会賞選考委員会）

中項目主義の専門事典の編纂に関する検討について

常任理事会

冒頭の会長挨拶「図書館情報学の活動基盤強化に向けて」(p.1)に、中項目主義の専門事典の編纂に関する検討を進めることについて触れられております。

本学会では、2003～14年度にLIPERプロジェクトが実施され、図書館情報学分野の核となる領域、扱われる概念、境界領域について議論が進められてきましたが、その後も学問領域の内実は問い直され続けています。

他方、この分野の事象・用語・概念を体系的にまとめた事典としては、『図書館情報学ハンドブック』第2版(丸善,1999年)を刊行して以来、本学会としては取り組んでおりませんでした。『図書館情報学用語辞典』が第4版(丸善出版,2013年)を数えておりますが、小項目主義の方針のもとに用語を編集したもので、体系性は志向していません。

このたび、丸善出版と協議するなかで、図書館情報学領域の全体像を俯瞰する中項目主義の専門事典の編纂について、刊行に向けた検討が可能な状況であることが認識されました。

常任理事会では、そうした事典を刊行することに意義があると判断し、刊行に向けた論点を整理するため、2019年度早々に編集準備幹事会を組織することを決定しました。メンバーは以下のとおりです。この編集準備幹事会において、2020年度半ばまでに、事典の目的、対象、目指す方向性について議論し、図書館情報学分野の範囲(取り上げるべき領域)、および取り上げるべき研究トピックの全体像を検討する予定です。

○編集準備幹事会メンバー(五十音順.敬称略)

- ・ 上田修一(慶應義塾大学名誉教授,元会長)
- ・ 小田光宏(青山学院大学教授,現会長)
- ・ 影浦 峯(東京大学教授)
- ・ 川崎良孝(京都大学名誉教授)
- ・ 倉田敬子(慶應義塾大学教授,現副会長)
- ・ 田村俊作(慶應義塾大学名誉教授)
- ・ 根本 彰(慶應義塾大学教授,前会長)
- ・ 三浦太郎(明治大学教授,事務局)
- ・ 吉田右子(筑波大学教授)

委員会・事務局より

『日本図書館情報学会誌』投稿募集

『日本図書館情報学会誌』の投稿先は以下のとおりです。投稿は随時、受け付けています。投稿に際しては「投稿規程」、「執筆要綱」、「『日本図書館情報学会誌』掲載原稿および審査に関するルール」をご参照ください。

(編集委員会)

- ・ 投稿先：日本図書館情報学会編集委員会(journal@jslis.jp)

- ・ 『日本図書館情報学会誌』 投稿規程 2018 年 7 月 8 日改訂
http://jslis.jp/wp-content/uploads/2018/09/c_reg_180708.pdf
- ・ 『日本図書館情報学会誌』 執筆要綱 2016 年 10 月 8 日改訂
http://jslis.jp/wp-content/uploads/2018/01/w_out_161008.pdf
- ・ 『日本図書館情報学会誌』 掲載原稿および審査に関するルール 2016 年 10 月 8 日改訂
http://old.jslis.jp/journal/JSLIS_review_rule161008.pdf

視覚障害者への学会誌 PDF 版の提供について

視覚障害者の会員の方に『日本図書館情報学会誌』の PDF 版データを提供いたします。ご希望の方は、事務局 (office@jslis.jp) までメールでご連絡ください。お心当たりの方は、対象となる会員の方にお声かけいただければ幸いです。事務局より、障碍の程度をお伺いした上で、提供いたします。

(編集委員会)

メールマガジンについて

総務委員会ではメールマガジンを随時、発行しています。掲載・講読希望の方は、総務委員会まで電子メール (somu@jslis.jp) にてご連絡ください。なお、掲載を希望する方は、PDF の添付ではなくメール本文に掲載内容を記してお送りください。

(総務委員会)

2019 年度の会費納入のお願い

2019 年度の会費を未納の方はすみやかに納入してください。2018 年度までの会費を未納の場合は、2019 年度と合わせてできるだけ早く納入してください。なお、会費を 3 年滞納した会員 (学生会員は 2 年) については、その年度末 (3 月 31 日) に会員資格停止の手続きを行います。次年度から会員としての権利を失いますのでご注意ください。

また、学生会員で 2019 年 4 月から所属が変わり正会員へ変更となる方については、判明後、すみやかに会員種別の変更手続きを行なってください。会費の金額が 2,000 円から 8,000 円に変わります。適正な会費をお支払いいただきますようお願いいたします。

【振り込み先】

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019 店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

学会費のクレジットカードによる支払いができるようになりました。下記のサイトからログインの上、決済が行えます。

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/settlement/JSLIS>

ログイン後、「オンライン決済へ進む」を押していただき、クレジットカード情報をご入力いただき、「オンライン決済の実行」をクリックすると決済が完了します。どうぞご活用下さい。

(事務局)

会員情報変更・退会および会員情報管理について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス、会員種別等の変更については、学会ウェブサイトに掲載されているガリレオの会員情報管理システム (SOLTI) から直接変更していただくか、「会員情報変更」のページ (<http://jslis.jp/membership/application/>) に掲載されている「会員情報変更申請書」にご記入いただき、事務局 (office@jslis.jp) までメールでお送りください。また会員種別の変更については、当該年度の 4 月 20 日まで

に申し出がない場合、その年度の会員種別の変更はできません。なお、翌年度から会員種別変更が見込まれる場合、前年度からも受付を行っております。学会発表時の所属や会費請求とも連動しておりますので、判明次第速やかにお願いたします。

ガリレオの会員情報管理システム（SOLTI）のIDとパスワードは2017年4月もしくは入会時に配布しております。上記のシステムによる会員情報変更が必要となります。今後、上記システムを用いた情報発信を行う可能性がありますので、IDとパスワードがご不明な方は、事務局までメールでご連絡ください。

なお、退会については特に書式はありませんので、電子メールにて、退会理由を併記のうえ、事務局（office@jslis.jp）までご連絡ください。毎年3月20日までに申請のあった場合、当該年度末での退会となり、それ以降はすべて翌年度末での退会となり、会費が発生しますのでご注意ください。

（事務局）

学会受領資料

紙幅の都合により、図書のみ掲載しております。（編著者の五十音順）

- ・ 今 まど子・小山 憲司 編著 『図書館情報学基礎資料』第2版 樹村房, 2019
- ・ 高山 正也・村上 篤太郎 編著 『改訂 図書館サービス概論』（現代図書館情報学シリーズ4） 樹村房, 2019
- ・ 田中 均 著 『図書館情報技術論』 青弓社, 2019
- ・ 野口 武悟・鎌田 和宏 編著 『学校司書のための学校教育概論』 樹村房, 2019
- ・ 山崎 久道・原田 智子 『改訂 情報サービス論』（現代図書館情報学シリーズ5） 樹村房, 2019
- ・ 渡辺 幸倫 編著 『多文化社会の社会教育: 公民館・図書館・博物館がつくる「安心の居場所」』 明石書店, 2019
- ・

会員の皆さまが図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局（白百合女子大学今井研究室）まで1部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。